



豊だより

令和2年 9月3日発行

No. 2

豊橋市立豊小学校

保護者アンケート ～自由記述の内容にお応えします～

※掲載するご意見は一部抜粋となりますが、いただいたすべてのご意見について全職員で共有し、今後の活動に生かしてまいります。

○コロナ禍の中のことで

今年度はコロナ禍の中、学校・先生方も大変だったことと思います。お疲れ様です。こういった事態はまたいつやってくるかわからないと思います。登校できなくても学習ができるよう、オンライン化を望みます。2週に1回でも「オンライン授業の日」を平時からやっていけば、いざという時にすぐに全面オンライン化にうつれるのではないのでしょうか。1校の判断では難しいとは思いますが、是非市にも要望していただきたいです。

コロナウイルス感染拡大のため、いろいろな変更等でニュースやホームページ、SNSで知ることが多かった様に思います。どんな細かなことでも保護者に伝えていただきたいです。

授業参観等が中止になり、学校の様子が見えにくい状況ですので、ホームページの「日々の様子」での更新を楽しみに見させていただいております。写真があるので学校を身近に感じることができます。今後も楽しみにしております。

授業を見たり学校が始まってから先生と話していないので、学校での取り組みは正直よくわかりません。家で聞く子供の話から答えを書きました。

「とよはし GIGA スクール構想」という施策を今年度から行っています。これは、全小中学生に1人1台タブレットを支給するものです。すでに豊小は工事業者との打ち合わせを終了しています。こういった学習環境を整備することにより、Web 協働学習（教育用 SNS を利用することで、リアルタイムでの意見交換が可能となる）、電子ドリルを用いた個別最適化学習、オンラインリアルタイム学習（インターネットを介して学習空間を広げることが可能）ができるようになります。タブレットは、今年度中に配置されます。これからは、効率的な使い方を研修などを通して私たち教員も工夫していきます。

学校休業期間は、情報を伝える手段がメール・ホームページしかなく、ご迷惑をおかけしました。休業となることのないよう、願っています。

ホームページの「日々の様子」は、できるかぎり更新するように努めてまいります。よろしくお願いいたします。

○通学について

朝の旗当番でこちらがあいさつをしても、あいさつが返ってきません。マスクをしているので、余計にわからないかもしれませんが、あいさつができるようになるとういと思います。

子供の通学路の件ですが、プールの壁の工事が終わったのに元に戻らないのはなぜでしょうか？

ゆたかの生活三則の中に「あいさつはいつでもどこでもだれとでも」という言葉があります。あいさつの大切さをこれからも指導していきたいと思っています。

プール側の道路は、職員や保護者が車で出入りします。しっかりとした歩道がなく、子どもの安全を考えると危ないということになり、現状のようになっています。

○マラソン大会について

マラソン大会を運動公園に戻してほしいです。

岩田運動公園までの子どもの移動時間、安全性を考慮して、昨年度運動場に変更しました。運動場

でも十分できることがわかったので、この運営方法で当面は行う予定です。ご理解のほど、お願いいたします。

○その他

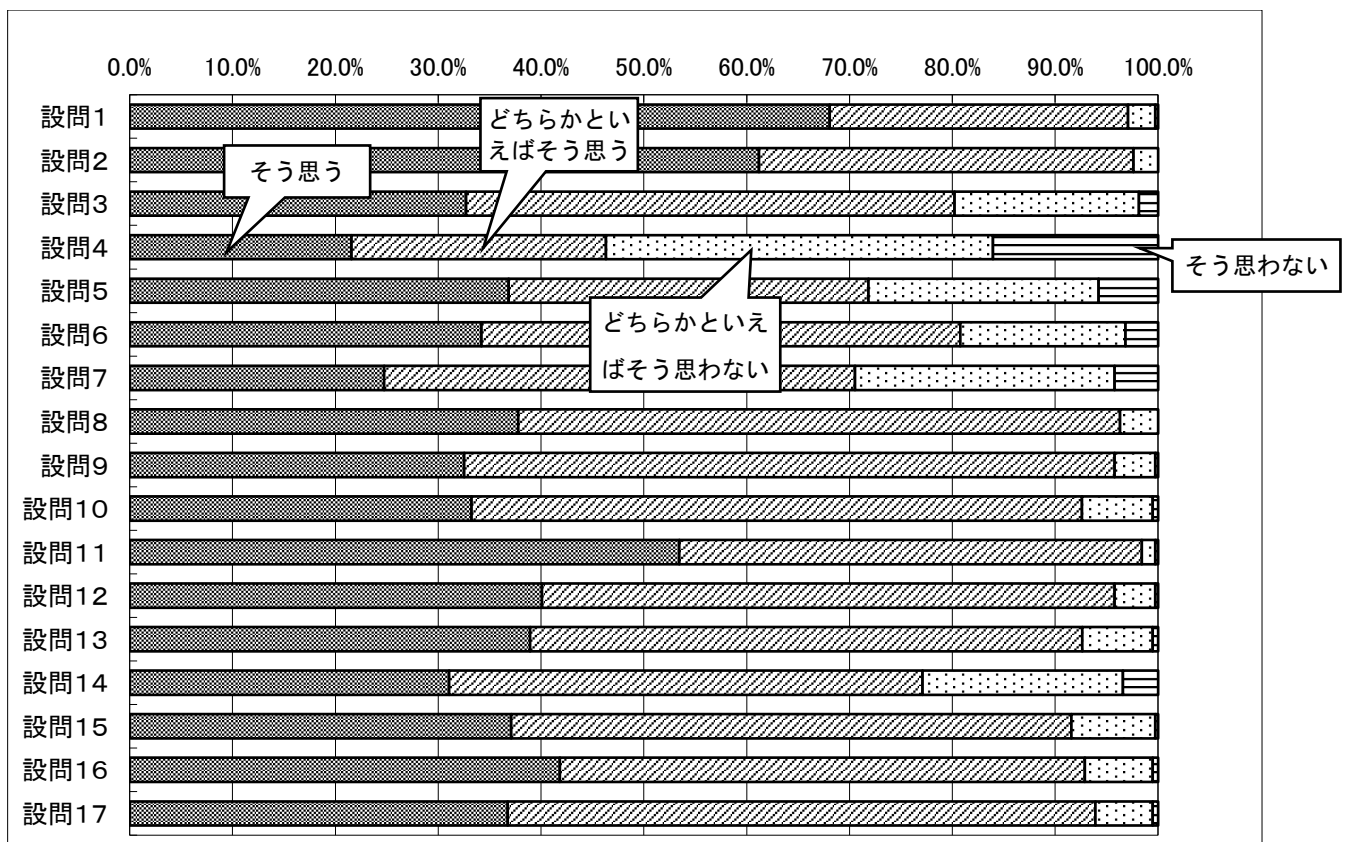
いつも子どもたちのことをありがとうございます。今回このように保護者の意見を聞いていただけることをありがたく思います。

ありがたい言葉です。職員一同、子どもたちのために今後もますますがんばります。【文責：校長 稲田あけみ】

保護者用アンケート

選択項目- 1 そう思う 2 どちらかといえばそう思う 3 どちらかといえばそう思わない 4 そう思わない

番号	質 問 内 容
1	お子さんは、楽しく学校に通っている。
2	お子さんは、友達となかよく過ごしている。
3	お子さんは、意欲的に学習に取り組んでいる。
4	お子さんは、家庭ですすんで本を読んでいる。
5	お子さんは、早寝、早起きができる。
6	お子さんは、バランスよくごはんを食べている。(家庭で)
7	お子さんは、家庭での学習の習慣が身についている。
8	学校は、ルールを守り、けじめある行動がとれる子どもを育てている。
9	学校は、子どもたちが先生や友だちの話を聴いてしっかり考える授業づくりに努めている。
10	学校は、授業や「お話タイム」などを通して、言語活動の充実に向けて取り組んでいる。
11	学校は、避難訓練をはじめとし、常に子どもの安全を考えている。
12	学校は、交通ルールなどのきまりを守り、「自分の命は自分で守る」ことのできる子どもを育てている。
13	学校は、教育方針や子どもたちの教育活動の様子を、学校新聞・学年通信・ホームページなどで、よくわかるように伝えている。
14	学校は、学校や地域の人たちにすすんであいさつできる子どもを育てている。
15	学校は、「朝の読書」や授業、休み時間などを使い、読書指導を積極的に行っている。
16	先生は、子どものよさを認め、伸ばそうとしている。
17	先生は、授業を楽しくわかりやすくするための工夫をしている。



全体的に「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した項目が多かった。設問1、2から「学校は楽しく、友達となかよく過ごしている」という割合が非常に高く、学校に通うことが好きな児童が多いことがわかる。設問4の「家で本を読んでいる」では「どちらかというともう思わない」と「そう思わない」という割合が高いため、学校でも家で本を読むことの大切さを教えていきたいと思います。アンケートへの協力、ありがとうございました。